

第 63 期第 7 回青年委員会議事録

1 開催日時 令和 5 年 8 月 27 日 (日) 午後 0 時 30 分から午後 16 時

2 開催場所 会議するなら (WEB 併用)

3 出席者

[副青年委員長]

島中翔、大城伶太 (WEB)

[執行委員]

佐藤大悟 (WEB)、松本琉寿、正垣峻、古川遼

[中執 (青年担当)]

村岡和弥 (中央書記次長)

[オブザーバー参加]

渡辺航

4 議題

- (1) 各地区本部活動経過報告
- (2) 第 2 回税関考查管理室長会見の評価反省
- (3) 青年委員会総会準備
- (4) 中等科研修生用アドバイスの検討
- (5) 来期青年委員会メンバーについて
- (6) その他 (各地区本部青年部総会の予定等)

5 議事内容

- (1) 各地区本部活動経過報告

ア 函館

- ・本関で研修が行われるときに青年層組合員と意見交換を実施した。

イ 東京

- ・欠席

ウ 横浜

- ・7月 21 日に青年層組合員の意見交換会を実施。
- ・9月 29 日に令和 2 ~ 4 年生を対象とした意見交換会を実施予定 (組合員含む)。

エ　名古屋

- ・大卒が帰ってきたタイミングで加入懇意を実施。加入はなかった。

オ　大阪

- ・7月末に中央執行委員長にきてもらって未加入者3名に対して加入懇意を実施。加入には至らなかったが前向きな返事はもらえた。
- ・大卒1名と令和3年のⅢ種が興味を示してくれているので9月中に個別に加入懇意を実施する予定。

カ　神戸

- ・欠席

キ　門司

- ・8月19日に全組合員を対象としたボルタリングレクを実施した。全体で家族含めて50名程度の参加であった。青年向けの内容で企画したが、青年層の参加者は3名のみであった。
- ・博多支署において若手向けの加入懇意を実施している。まだ加入には至っていない。

ク　長崎

- ・欠席

ケ　沖縄

- ・特になし。

(2) 第2回税関考查管理室長会見の評価反省

- ・これまでの域を超える回答はなかった。
- ・フリートークではあるが、当局側の意見が聞けてよかったです。その意見も踏まえ、離島異動の車の移送費用については、民間の状況も含めて検討することとした。

(3) 青年委員会総会準備

ア　青年委員会総会等の現状のスケジュール

第8回青年委員会：令和5年9月16日　午後0時30分から午後1時

第16回青年総会：令和5年9月16日　午後1時30分から午後3時30分

レセプション：実施しない

第1回青年委員会：令和5年9月16日　午後4時から午後4時30分

9月17日　午前11時30分から午後2時30分

イ　スローガン

- ・8年前から変わっておらず、コロナの感染上の分類が5類となり、来期は本格的に青年

の活動を再開していこうという年になると思われる所以変更を検討したが、他に良い案もなかったため、これまでと同様のスローガンとすることとした。

エ 役割分担

青年委員会総会の役割分担を以下のとおり決定した。活動経過報告、活動計画（案）、スローガン確認の発言内容は村岡中央書記次長が過去を確認して、担当者に共有することとした。

受 付：松本

総 合 司 会：正垣

資格審査報告：大城

総 会 議 長：代議員（長崎）（沖縄）※第6回青年委員会で決定

活動経過報告：小林

活動計画（案）：島中

スローガン確認：古川

総 会 書 記：全員

マイク係：渡辺（次期中央書記次長）

カメラ係：渡辺（次期中央書記次長）

総 会 宣 言：代議員（東京）※第6回青年委員会で決定

祝 電 披 露：松本

オ 議案書質問について

・8月29日〆切で「第62期活動経過報告」「第62期青年委員会活動記録」「第63期活動計画（案）」に対する青年層組合員からの質問を募っていたところ、現段階での状況を確認し、期限までに回報するように依頼があった。

（4）中等科研修生用アドバイスの検討

令和4年中等科研修アンケートからもアドバイスの送付は好評であることから今期も実施することとし、前期のアドバイスをベースに令和4年中等科研修アンケートの結果を参考にしながら内容の検討を行った。検討結果は、以下のとおり。修正したものを後日メールで青年委員会役員に確認依頼することとした。

ア 削除

・オンラインの場では質問しにくいこともあると思いますが、疑問点があれば積極的に質問することが大切です。

⇒当たり前の話なので削除した

イ 追加

・メールでの質問の有効活用をアナウンス

⇒第63期第3回青年委員会において税関研修所副所長会見の議題検討をした際にオンライン研修での質問のしづらさについて検討を行った。後日、状況を確認したところ、質問

はしやすい環境であり、実際の質問回答メールも確認したが、丁寧な回答で対面での質問より良いものであった。通常の疑問に対する質問については、丁寧で有効であることから活用するようにアナウンスを追加することとした。

・中等科研修前に年休取得を計画的にするようにアナウンスする。

⇒中等科後期組は研修終了が 12 月中旬となっており、研修中は年休を取得することができないことから中等科研修開始前に計画的に年休取得をしておくようにアナウンスを追加してはとの意見が青年委員会役員からあった。今回追加し、令和 5 年度中等科研修アンケートでの反響を確認してみることとした。

(5) 来期青年委員会メンバーについて

ア 来期青年委員会メンバー

現状、以下のとおり。

函 館：継続

東 京：継続

横 浜：継続

名古屋：継続

大 阪：交代 (H29Ⅲ)

神 戸：交代 (人選中)

門 司：交代 (R2Ⅲ)

長 崎：交代 (人選中)

沖 繩：継続

イ 来期青年委員会三役

以下のとおり決定した。次回の中央執行委員会で承認を得ることとした。

青年委員長：小林 佑太朗 (東京)

副青年委員長：島中 翔 (名古屋)

副青年委員長：市口 (大阪)

書 記 長：佐藤 大悟 (函館)

(6) その他 (各地区本部青年部総会の予定等)

ア 各地区本部青年総会の予定

函 館：9月 30 日 (土) 午前 10 時～ KKRはこだて 集合開催

東 京：欠席のため不明

横 浜：開催しない

名古屋：開催しない

大 阪：開催しない

神 戸：欠席のため不明

門 司：9月 30 日 (土) 午後 1 時～ 大連上屋 集合開催

長 崎：開催しない

沖 繩：開催しない

イ 全大蔵労連青年女性セミナーについて

令和5年11月9日（木）から10日（金）にかけて開催される全大蔵労連青年女性セミナーについて村岡中央書記次長から説明があった。内容説明後、税関労組参加者定数の6名についてどの地区本部から選出するか検討を行った。検討結果は以下のとおり。欠席地本にも後日確認して動員地本を決定することとした。

函 館：希望なし

東 京：欠席のため後日確認

横 浜：1～2名希望

名古屋：検討

大 阪：希望なし

神 戸：欠席のため後日確認

門 司：2名

長 崎：欠席のため後日確認

沖 繩：他の地区本部の参加状況に合わせて調整

以上